

沖縄県本島における熱帯・亜熱帯果樹類の調査

日高 哲志・小森 貞男

国際農林水産業研究センター・沖縄支所・熱帯果樹研究室

Investigation of Tropical and Subtropical Fruit Crops on Okinawa Main Island

Tetsushi HIDAKA and Sadao KOMORI

*Laboratory of Tropical Fruit Crops, Japan International Research Center
for Agricultural Sciences, Maezato, Ishigaki, Okinawa 907-0002, Japan*

Summary

An investigation into private orchards and institutes in Okinawa Main Island was conducted from July 14th to 17th, 1997 for future introduction and cooperation on gene resources of tropical and subtropical fruit crops. By this investigation, it was confirmed that 24 species of tropical and subtropical fruit crops are being conserved in three private institutes, Tohnan Botanical Garden, Yambaru Subtropical Garden and Tropical Dream Center of Marine Exposition Memorial Park on Okinawa Main Island.

KEY WORDS : Tropical and subtropical fruit germplasm, Okinawa

1. 目的

南西諸島はその名の示すように多くの島嶼からなっている。特にその中心となっている沖縄地域は、歴史的にも中国や東南アジアと密接な交流があり、現在もその交流は続いている。また、亜熱帯地域にあることから、それらの地域からの熱帯・亜熱帯果樹類の導入・栽培が古くから行われており、琉球王朝時代の文献に記録されているものでも、パパイヤやバナナなど、15世紀にさかのぼるものも認められる²⁾³⁾。また、マンゴーの例など、近年においても導入される果樹類は多く、これまでかなりの熱帯・亜熱帯果樹類が導入・栽培されてきた。それらの果樹類の多くは、大学あるいは沖縄県農業試験場などにおいて保存されており、それらの情報はすでに当研究室でも入手している。一方、観光産業の盛んな沖縄地域においては、個人あるいは会社組織で植物園等を経営したり、最近の果樹農業の隆盛に伴っ

て、個人的に海外から導入・栽培している例も多い。そこで、今後の研究上の参考とするために、沖縄県農業試験場及び琉球大学農学部で農家や個人あるいは会社組織の植物園等の情報を入手し、保存されている熱帯・亜熱帯果樹類を調査した。

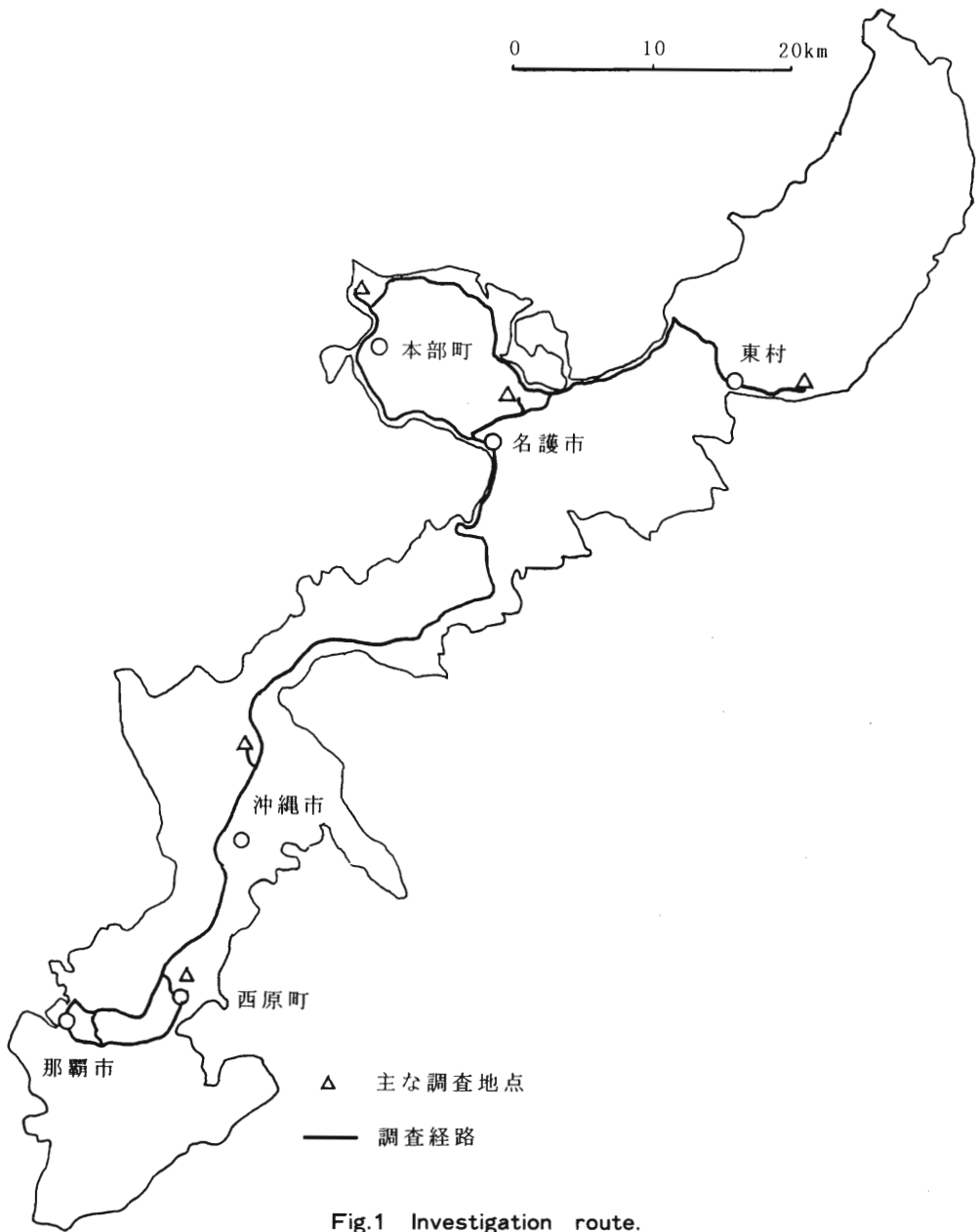
2. 調査方法

調査は、沖縄県本島の、那覇市、沖縄市、名護市、本部町で行った (Fig. 1)。那覇市及び沖縄市は主に沖縄県農業試験場による情報、名護市及び本部町は主に沖縄県農業試験場名護支場による情報によった。沖縄地方における台風の被害は甚大で、調査とぶつかる場合や、また、保存樹の状態も変化することが考えられたため、来襲前の7月中旬を調査期日に選んだ。1997年7月14日朝に石垣市から那覇市まで飛行機で移動し、その後はレンタカーで移動した。同日に沖縄県農業試験場(那覇市)及び琉球大学農学部(西原町)を訪問して、情報を入手した。7月15日は那覇市周辺の数軒の果樹農家を訪問するとともに沖縄市の東南植物楽園を訪問し、当園の保存する果樹類を調査し、種々の情報を入手した。同日午後、名護市の沖縄県農業試験場名護支場において周辺農家及び民間植物園等の情報を入手した。7月16日は名護市周辺の農家を訪問するとともに、同市のやんばる亜熱帯園及び本部町の海洋博記念公園熱帯ドリームセンターを訪問し、当センターの保存する果樹類を調査し、種々の情報を入手した。7月17日には東村の種苗センター沖縄農場を訪問し、遺伝資源に関する情報を交換するとともに、周辺の農家を訪問した後、夕方那覇から石垣への帰路についた。

3. 熱帯・亜熱帯果樹類の栽培状況・特徴・利用法

訪問したうちかなり多くの農家で、マンゴーやクダモノトケイソウ、カンキツ類(タンカン)の栽培(庭先栽培を含む)が行われていた。また、パラミツやゴレンシ、レイシの栽培(庭先栽培を含む)も認められたが、特に変わった、あるいは新規の熱帯・亜熱帯果樹類は栽培されていなかった。しかし、訪問した3つの植物園ではかなり多くの熱帯植物が収集され、海洋博記念公園熱帯ドリームセンターでは12種類、東南植物楽園では10種類、やんばる亜熱帯園では2種類の熱帯果樹類が保存されていた (Table 1)。そのほとんどは沖縄県の本土復帰以後に海外から導入したか、県内の他の地域から移植されたものであった。かなりのものが成木で、結果期に達しているものも多く、入園者に果肉やあるいはジュースとして販売している例もあった。

訪問した3つの園で保存されている果樹類は、クワ科、ヤマモガシ科、バンレイシ科、マメ科、カタバミ科、ミカン科、キントラノオ科、ムクロジ科、アオギリ科、トケイソウ科、フトモモ科、サガリバナ科、バショウ科の14科¹⁾⁴⁾⁵⁾⁶⁾ 24種に及び、重複しているものはなかった。



4. 所感

南西諸島にはミカン科やツツジ科など一部に在来果樹類と言われるものが存在するがその数は少なく、果樹類と分類するには困難なものも多い。現在沖縄地域で果樹として栽培されているもののほとんどは海外から導入されたものであり、人や物の移動が簡単になった現在、民間においてもますます多くの果樹類が導入されつつある。しかし、それに伴い病虫害が持ち込まれる機会も増え、これまで東南アジアが中心とされていたカンキツのグリーン

グ病が沖縄本島で確認されるに至り、現在沖縄県から他の日本地域へのカンキツ樹の持ち出しは禁止されている。沖縄県内には山野に自生するカンキツあるいはその近縁種も多いことから、今後の対策には困難が伴うものと憂慮されている。マンゴー栽培に代表されるような果樹栽培は、その種類、面積ともますます増加しつつあり、農家が個人的に導入する例も増えるものと思われるので、海外からの果樹類の導入に当たっては十分な注意が必要であることを周知することも必要と思われた。

5. 謝辞

沖縄県農業試験場、琉球大学農学部、農家の方々、東南植物楽園、やんばる亜熱帯園、海洋博記念公園熱帯ドリームセンターの皆さんには、この場を借りて、厚くお礼を申し上げます。

6. 参考文献

- 1) 岩佐俊吉 1974. 東南アジアの果樹 農林省熱帯農業研究センター
- 2) 小島 裕 1986. 沖縄の熱帯果樹 新星図書
- 3) 城間朝教編 1977. 沖縄の自然：植物誌 新星図書
- 4) 田中長三郎 1951. 果樹分類学 河出書房
- 5) 橋本悟郎 1978. ブラジルの果実 農林省熱帯農業研究センター
- 6) Morton, J.F. 1987. Fruits of warm climates. Creative Resource Systems, Inc. USA

Table 1. Tropical and subtropical fruit crops conserved in three private institutes on Okinawa Main Island.

沖縄本島3 植物園の保存果樹類

場所	果樹名	科名	学名	原産地
東南植物楽園	バンノキ	クワ科	<i>Artocarpus altilis</i> (Sol.ex Park.) Fosb.	インドシナ～西ミクロネシア
	バラミツ	クワ科	<i>Artocarpus heterophylla</i> Lam.	熱帯地方
	ゴレンシ	カタバミ科	<i>Averrhoa carambola</i> L.	セイロン～モルッカ諸島
	リュウガン	ムクロジ科	<i>Euphoria longan</i> Steudel	中国南部
	レイシ	ムクロジ科	<i>Litch chinensis</i> Sonn.	中国南部
	バンリュウガン	ムクロジ科	<i>Pometia pinnata</i> Foster	フィジー
	ピンボン	アオギリ科	<i>Sterculia nobilis</i> R.Brown	中国南部
	ジャンボラン	フトモモ科	<i>Syzygium cumini</i> Skeels	インド～インドシナ
	レンブ	フトモモ科	<i>Syzygium samarangense</i> (Blume) Merrill et Perry	マレー半島～アンダマン諸島
	ケガキ	カキノキ科	<i>Diospyros discolor</i> Willdenow	フィリピン
やんばる亜熱帯園	ホンピリバー	バンレイシ科	<i>Duguetia marcgraviana</i> Martius	ブラジル東北部
	スイートグラナジラ	トケイソウ科	<i>Passiflora lingularis</i> A.Jussieu	中南米熱帯地方
海洋博記念公園 熱帯ドリームセンター	オオバイヌビワ	クワ科	<i>Ficus septica</i> Burm.f.	インドネシア
	マカダミア	ヤマモガシ科	<i>Macadamia tenuifolia</i> F.v.Muell.	オーストラリア東～南部
	タマリンド	マメ科	<i>Tamarindus indica</i> L.	熱帯アフリカ
	ワンピ	ミカン科	<i>Clausena lansium</i> (Loureiro) Skeels	中国南部～インドシナ北部
	アメイシャ	キントラノオ科	<i>Bunchosia armeniaca</i> DC.	エクアドル高地
	マモンチロ	ムクロジ科	<i>Melicocca bijugatus</i> Jacquin	熱帯アメリカ
	カカオノキ	アオギリ科	<i>Theobroma cacao</i> L.	熱帯アメリカ
	ジャボチカバ	フトモモ科	<i>Myrciaria cauliflora</i> (Martius) Berg.	ブラジル南部、パラグアイ、アルゼンチン北部
	マレーフトモモ	フトモモ科	<i>Syzygium malaccense</i> (L.) Merril et Perry	マレーシア～モルッカ諸島
	ハウガンノキ	サガリバナ科	<i>Couroupita guianensis</i> Aublet	ギアナ～アマゾン
	リョウリバナナ	バショウ科	<i>Musa</i> spp.	マレー半島
	ブラッドバナナ	バショウ科	<i>Musa</i> spp.	中国南部～インドシナ